

L P ガス供給基地における クボタ全自動回転式充填システム

地球環境保護の観点やエネルギー政策の見直しが検討されている中、「化石燃料の中で比較的 CO2 排出が少ないクリーンなガス」である L P ガスは、非常に重要なエネルギーであると考えられています。

(日本 L P ガス協会 H P より抜粋引用)

高い熱効率と操作性に優れた L P ガスは、工業・食品加工業・空調・商業などの産業用としてだけでなく、自動車用（タクシーや営業車、フォークリフト）や家庭用としても幅広く活躍しています。

今回ご紹介いたします**広島ガスプロパン株式会社**は、広島県安芸郡海田町に設立されている西日本最大級の広島 L P G 物流センター内に位置し、エネルギー供給の重要なインフラ基地となっています。

毎日、たくさんの充填容器を積んだトラックがこの充填基地を往復し、各デポ基地やお客様の元へエネルギーを配送していきます。

■ 充填所



■ 全自動回転充填機 ACAD



■ 定置式充填機



■ トラックスケール



LPガスは、11月～4月頃が繁忙期（1日約140トン＝約4800本の容器に充填）となりますが、夏季でも1日約80トン＝約3200本の容器に充填されるそうです。充填機は早朝7：15～17：00までフル稼働で、8名の作業員の方が交代で連続作業されており、作業効率向上にクボタの全自動回転充填機が活躍しています。この度、より安全・安心な充填作業を確保する為、老朽化した1号機を更新されました。

■ 更新された1号機（ACAD）



A C A Dが自動でオペレートする基本的な流れは次の通りです。

1) 容器搬入、バルブ開栓、ラベルスキャン

↓

2) 充填ユニットの装着

↓

3) 充填開始

↓

4) 定量充填／過不足判定

↓

5) 容器バルブ閉栓

↓

6) 充填ユニット離脱、排出

■ 充填の様子



今回の更新においては、事前に久宝寺事業センター（大阪府八尾市）にお越し頂き、実機にて御立会検査を実施頂いた上で納品させて頂きました。

現地での納品～組立～試運転には約2週間頂戴し、据付技術指導員により、不具合が無いか充分確認させて頂いた上でお引き渡しとさせて頂きました。

『お客様へ供給するガスが止まってはいけない。』という河本所長様（広島ガスプロパン工業株式会社）のお言葉には、ライフラインの重要な任務を果たされている方としての強い責任感を感じました。

その責務に、クボタとして長年携わっていることを嬉しく思います。

今後も安全・安心なエネルギーを供給される広島ガスプロパン株式会社様の十分なサポートができるように努めていきたいと思えます。

河本所長様にはお忙しい中取材にご協力頂き、大変お世話になりました。
ありがとうございました。